

いなみ

Vol.18
第18号

発行：令和7年
3月20日



二十歳の集い（令和7年1月12日：南砺市井波総合文化センター）

二十歳を迎えて

南砺市二十歳の集い 井波地区 嶋田 美志乃

私は高校を卒業した後、石川県の大学に進学しました。今まで共に過ごしてきた家族や友人、地域の方々とは離れ、二年が経った今ようやく県外での生活に慣れたところです。令和六年元旦の能登半島地震が起きた時にはアルバイトの最中でした。業務を終えた後、井波に帰省する予定が、すぐには帰れない状態となりました。数週間後には海外留学を控えていた中で、異例な出来事に、地元へ帰れないことも相まって不安が募るばかりでした。幸いにも私自身は大きな被害を受けることなく、無事に海外留学を終え、現在も大学で学んでいます。県外や海外での生活を経験するとやはり生まれ育った地元の安心感を超えるものはないと感じます。井波に帰る度、変わらない景色と慣れ親しんだ故郷の温もりが心に染み渡ります。

そして、雨続きの空が晴れ渡った成人の日、無事に二十歳の集いに出席することが出来ました。懐かしい顔ぶれに思わず笑顔が溢れ、地域の皆様やお世話になった恩師の皆様が温かく迎えられるながら、束の間の安らぎを感じられるあつという間の一日でした。ご多忙の中準備をしてくださった皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

この和やかな井波を後世にも残していきたいよう、感謝の気持ちを忘れず、これからも努めていきたいと思っております。

「あすも元気デイ」参加者募集中

健康長寿のまちづくりを目指す井波地区では65歳以上の高齢者の集いの場を提供しています。見学や体験参加もできるので、一度遊びに来てみてください。また、見守りスタッフが一緒に寄り添いながら、楽しい時間を過ごせる、安心な居場所です。

介護予防日常生活支援総合事業（通所サービスB型）

日時	毎週木曜日（祝日は休み） 10:30～15:00
会場	アスモ 1階
対象者	65歳以上で、一人暮らしや日中の時間高齢者だけで生活している方 ※介護認定を受ける必要はありません。
参加料金	1回 750円 (利用料250円、昼食代500円)
プログラム	体調チェック・なんと体操・昼食 ゲーム・カラオケ・ものづくり etc

毎週開催していますので、自分で来場できない方は当協議会までご相談ください。

参加ご希望の方は **井波地域づくり協議会**
電話82-3744 までお申し込みください。

4月～7月の行事予定

- 4月 全国春の交通安全運動
井波地域づくり協議会総会
忠霊塔清掃
 - 5月 青色防犯パトロール実施者講習会
 - 6月 大門川桜下草刈事業
地域内道路等維持サポート事業
 - 7月 青色防犯パトロール
広報いなみ第19号発行
七夕まつり
- 毎週木曜日 あすも元気デイ
※都合により中止又は変更する場合があります。

井波地区の人口と世帯数の推移

	R7.2月末 現在	R6.2月末 現在	増減
人口	3,968人	4,053人	△ 85人
男性	1,864人	1,905人	△ 41人
女性	2,104人	2,148人	△ 44人
世帯数	1,682世帯	1,687世帯	△ 5世帯

△印：減少

発行：井波地域づくり協議会 〒932-0231 南砺市山見1739-2「アスモ」2F
Tel/Fax 0763-82-3744 Email: inami.kmn@gmail.com ホームページ: <https://inami-kc.7104.info/>

お店紹介

六角堂 BUZZ

南砺市本町4-29
電話：55-6064
(営業日対応)



長年空家だったランドマーク「六角堂」に明かりを灯そうと、井波出身の同級生(46歳)でDIY改装しオープンにこぎ着けました。

お店の雰囲気は沢山の人が気軽に集える場所/空間になっていますので、老若男女問わずお気軽にご来店ください。

●おすすめ商品
ウイスキー、カクテル、フード各種(ラーメンあります)

【開店曜日・営業時間】
毎週金曜土曜 19:00～23:30 (他曜日での予約も承ります)

当店はInstagramにて情報発信しております。



STOP! 特殊詐欺 闇バイト

警察官を名乗る詐欺に注意!
副業名目の詐欺に注意!
有名人から連絡が...!
当選金がもらえる...!?
高収入なバイト...!

こんな話は すべてウソ!

困ったときは、ひとりで悩まず「#9110番」又は南砺警察署 52-0110 へ相談してください。

井波講&南砺市出前講座

3月7日(金) 井波社会福祉センター
地域づくり部会長 原田 司

井波地域づくり協議会が主催する今年度2回目の「井波講」は、「南砺市出前講座」と連携し、井波地域の諸課題について、新年度の南砺市行政の取り組みなども含め情報提供をいただきました。南砺市総合政策部 次長・政策推進課長の亀田秀一さんから、公共交通の取組み「誰もが利用しやすい地域公共交通」として、市営バスの維持・再編とデマンドバス運行の利便性向上への取組みや新年度に新規事業として検討されています、公共

ライドシェアについて説明をいただき、参加者の皆様からご意見をいただきました。



民間組織の活動として、イドウラボ理事の島田優平さんからは、イドウラボでの実証実験などの取り組みについて、「住みやすく・移動しやすいまちづくり」として、利便性の向上や利用者の増加を目指す事例を紹介いただきました。

続きまして、「井波庁舎の利活用について」亀田政策推進課長から地域の賑わいづくりの取り組み状況なども含めての情報提供がありました。NPO法人イナミライデザインの小西正明さんからは、2月22日に開催されました「井波ミラ

イフォーラム」の内容等について、井波庁舎の跡地利用として、周辺を「公園」と見立てて賑わいを創出する「井波まちなかハブ公園プロジェクト」の状況等の取り組みの活動報告や井波庁舎の跡地をどう再整備するのか、ヒアリングや社会実験を通じて見えてきたもの、現在の構想について、来場者からのご意見を伺いました。

また、ジソウラボ理事の前川大地さんからは、観光庁の補助事業として取り組んでいる「第二のふるさと事業」で交流人口の拡大についての活動を紹介いただきました。

来場の皆さまから、これからの井波地域の活性化や地域づくりの諸課題についての主なご意見として、

- ① 井波講に分科会を設置して、井波ビジョンを策定してはどうか
- ② 高齢者が瑞泉寺へのお参り、じょうはな座・ヘリオスにも行きやすいように、デマンドバス・ライドシェア等の充実を推進していただきたい、デマンドバスで井波地域から他の地域に出かけられるように検討していただきたい
- ③ 井波庁舎の活用については、取壊し以外の選択肢を考えているのか
- ④ 地元出身の学校の先生が少ないので、PTA活動等を通じて学校での地域活動を進めている。子供達が地域を誇りに思う意識の醸成につなげていきたい



井波ミライフォーラム

2月22日(土) 井波社会福祉センター

「井波ビジョン2040」の発表から1年が経過し、ビジョンの実現に向け、旧井波町役場(跡地)をどのように再整備するか、ヒアリングやイベントを通じて得たもの、現在の構想などの報告会が行われました。

報告会に先立ち公園づくりの事例や考え方の講演会が行われ、ランドスケープデザイナーの熊谷玄氏から、「公園に何がほしいか」よりも、使う人達はその公園で「何をやりたいか」として考えたほうが、自分たちの公園として主体性があり、使いやすいものになると話されていました。続く報告会ではイナミライデザインができた経緯と活動について紹介がありました。

イナミライデザインの経緯

井波まちづくり検討委員会で提言した「まちづくりの方向性に関する提言書」の実現をめざして「CUC A構想(庁舎利活用)」が生まれる。「CUC A構想」は南砺市の事業化調査において採算性が低いとされ、まず、将来のビジョンを作ることにし、若い世代の皆さん(後にイナミライ)により20年後のビジョン「井波ビジョン2040」を作成した。

「井波ビジョン2040」の実現に向けて南砺市まちづくり交付金を活用し、庁舎跡地を整備する事業を考えていくのがイナミライデザインです。

イナミライデザインの活動

イナミライデザインはこれまで公園マルシェや庁舎車庫でのガレージマルシェ、また、公園について考える座談会を幾度も開催し、市民の皆さんから様々な意見をいただき、それらを参考にしながら、庁舎周辺エリアと連携のとれた「まちなかのハブ公園」としたいと考えています。

最後に庁舎跡地を中心とした模型を囲んで、意見交換がおこなわれました。参加者からの主な質問や意見として ①「中央の道路は通行規制できるのか。」 ②「南砺市内で最も古い井波のまちなかの歴史を保存する資料館をつくれればどうか。」 ③「気軽に木彫刻を体験できる場所があればよい。」 ④「ウォーキングできるコースがあればよい。」 ⑤「庁舎周辺に滞在できる場所がいくつかあればよい。」 ⑥「静かに暮らしたい方」等を考慮した公園づくりをお願いしたい。」等がありました。

フォーラムと同時に社会福祉センター一、二階を利用してのマルシェにも、多くの方にご来場いただき、賑わっていました。



模型を前に意見を出す参加された皆さん

等々、大変貴重なご意見や情報提供をいただきました。

これらのご意見に対して、南砺市・地域づくり協議会からは、分科会設置や井波ビジョンの策定・井波庁舎の活用・公共交通等は井波地域全体の課題でありますので、井波地区だけではなく、南山見・山野・高瀬地区の地域づくり協議会と連携して「オール井波」で慎重に進めていく必要性がある。市からは、行政と民間との連携を更に推進して、デマンドバスの充実に努め、南砺市の今後の行政運営につなげていきたいとの、コメントをいただきました。

最後に、島田地域づくり副部会長より、井波講は行政への要望ではなく、地域の課題について行政との連携や情報交換を少しずつ進めて、地域の活性化に関心を持たれている方と情報共有を図ることを推進していきたいと考えており、皆様には、当協議会の活動に対し、今後ともご指導と御協力をお願いされました。



今回の、井波講&南砺市出前講座も地域おこし協力隊黒崎さんによって、ユーチューブ配信しておりますので、ご覧ください。



YouTube 井波ちゃんねる

小規模多機能自治 各地区取り組み発表会

2月2日(日) ア・ミューホール

南砺市内31の地区に組織されている各地域づくり協議会の取組発表会が行われ、広瀬、福野東部、井波の3地域づくり協議会から発表がありました。井波地域づくり協議会からの発表は「コミュニティカフェ輪っか」の取り組みについて代表の遠藤裕子さんとメンバーの高田優美子さんにより発表いただきました。

「ママ達の笑顔で地域をもっと元気に♪」と題して「子育ての悩みや考えていることを共有できる居場所づくり仲間づくり」地域活動への参加応援「地域の歴史や文化を学んで未来へ伝承する企画」について発表され、7年度も是非この事業に取り組んでいきたいと話されました。



遠藤裕子さん 高田優美子さん

新年祝賀会

令和7年1月2日(木) 午前11時〜

井波地域づくり協議会恒例の新年祝賀会を町内会や各団体の代表計68名の参加をいただき、木彫りの里創遊館において開催しました。

三谷会長から、南砺市誕生20周年を迎えて次の20年に向けて飛躍する年になってほしい。また、世界各地で戦争や紛争が勃発していることを取り上げ、井波出身戦没者の御霊を慰める思いで創建されました井波招魂社について、時の流れとともに屋根の傷みにより雨漏りが著しく、ご支援・ご協力依頼についての話がありました。

そして、昨年発表された井波ビジョン2040から「まざりあい、つづけるまち。井波」を理念としたまちづくりについて、これからの未来を担っていく子どもたちが「井波に生まれてよかったです、これからも井波に住み続けたい。」と思えるまちを継承していきたいと抱負を述べました。



左義長

1月13日(月)午後1時30分〜
文化・スポーツ副部長 澤田 信幸

1月13日(月)井波小学校グラウンドにて左義長の行事を執り行ないました。

冬の青空を彩る、勇壮な左義長の火柱は私の心に深く刻まれました。左義長は一年間の無病息災を願い、古いものを焼き払い新しい年を迎える伝統行事です。



晴天にめぐまれた左義長

パチパチと音を立てて燃え盛る様子は、日頃の疲れが癒される気がしました。子供たちは自分が書いた書初めが燃え上がり、青空に舞う様子を楽しそうに見上げていました。

特に印象に残ったのは、地域の人々が協力して作り上げた7mの高さがある櫓。その櫓に火が灯された瞬間、歓声があがりました。共同で作り上げ、成し遂げた喜び、そして地域の方たちと鑑賞する一体感が、左義長を特別な行事にしていると感じました。

左義長を通して、地域の人々の繋がりがや、伝統文化の大切さを改めて実感しました。この貴重な体験を忘れずに私も地域の一員として、伝統を後世に繋いでいきたいと思えます。

元氣塾

1月24日〜2月21日 毎週金曜日開催
文化・スポーツ部会

今年度後期の元氣塾を井波社会福祉センター、社会福祉センターにて開催しました。

元氣塾の目的は健康で活動的な生活を送るために、知っていたら役立つことを発信し、これからの生活に役立ててもらおうことです。

また、体のことで困ったことがあれば相談してもらえたらと思いい学習会を開いています。

気にはなるけどなかなか足が向かない井波社会体育館や包括ケアセンターについても知ってもらい、体力作りをするとともにコミュニケーションの場にもなり、元氣な身体と心で安心して長生きしていただきたいと思っています。

今回は次の4教室を開きました。

- ・フレイルチェック・体操
- ・簡単にできる減塩料理実習
- ・筋力トレーニング(トレーニング機器の活用)
- ・特殊詐欺と交通安全についての講習

これからも健康で活動的な生活を送りましょう。令和7年度も計画してまいります。楽しく学びましょう。



トレーニングに取り組む皆さん

第46回競書大会表彰式

2月1日(土) 井波総合文化センター

井波小学校、井波中学校のご協力を得て、競書大会の表彰式を行いました。本年は341点の応募がありました。

「競書大会を通して」

井波中学校3年 柏崎 遥花

私は、七年間競書大会に参加し、この大会を通してきれいな字を書くことを心掛けるようになりました。七回の内四回は南砺市の歌「緑の里から」を書きました。私は日頃から地域行事に積極的に参加していますが、歌詞を書き意味を知ること、歌への理解が深まり歌や南砺市を大切に思うようになりまし。これからも字をきれいに書くことを心掛け南砺市を大切にしたいです。



受賞された生徒の皆さん

競書大会審査結果

小学3年生の部	優秀賞：中村 光	優良賞：前川紹巴	磯邊隼士
佳 作：長谷川誠治	野中南葵	谷口愛美	
小学4年生の部	優秀賞：笠原路馬	優良賞：松川優翔	上田絢斗
佳 作：武田彩楓	岩倉碧大	高野結子	
小学5年生の部	優秀賞：小西美羽	優良賞：上田美悠香	得永智矢
佳 作：市野心菜	北田楓怜	江川紗和	
小学6年生の部	優秀賞：高田菜海	優良賞：玉井陽多	山崎珠花
佳 作：上田綾那	角藤舞依	楠ひなた	
中学1年生の部	優秀賞：澤田 栞	優良賞：得永葵衣	高橋 恵
佳 作：板橋佳志乃	石森敬亮	波能麻里	
中学2年生の部	優秀賞：板橋祐実	優良賞：瀧田夏睦	野村一華
佳 作：板橋慎琴	荒木理央	稲塚美智	
中学3年生の部	優秀賞：柏崎遥花	優良賞：水野 凜	頓所稀來
佳 作：柏崎彩花	中山皓斗	紺野天衣	

料理教室(郷土料理)

12月27日(水)午前10時〜

文化・スポーツ部会

食生活改善推進員の皆さんからご指導をいただき南砺市地域包括ケアセンターの調理室にて15名の参加者により料理教室を開催しました。

今回の料理は地元の食材を上手に使った生活の知恵からうまれた郷土料理で「いとこ煮」のほか「煮なます」「車麩の卵おとし」「古代米ごはん」です。

参加された皆さんは、わいわい賑やかに楽しく調理し、できあがった料理に満足されていました。



【いとこ煮】

材料(二人分)

小豆(ゆで)30g、人参30g
大根50g、ごぼう25g
里芋65g、こんにやく1/8
油揚げ1/8枚
ほんだし2g、みそ大さじ1、水250cc



- ・小豆は柔らかくゆで、こんにやくは湯通しする。
- ・ごぼうを切り水にさらしてアクをぬく。

- ①材料はすべてをさいの目に切る。
- ②鍋に切った材料すべてと水を加え中火で10分程やわらかく煮る。
- ③やわらかくなったら小豆とみそ調味料を加え混ぜ合わせ味を調え盛り付ける。



料理教室の動画